

[夷隅感染症情報]（2022年 第1報）

トピックス（新型コロナウイルス感染症関連）

○新型コロナウイルス感染者へのインターネットを活用した健康観察対象者及び健康観察方法の変更（令和4年8月3日）

県では、重症化リスクの低い方に対しては保健所による電話連絡に代えてインターネットを活用した My HER-SYS（マイハーシス）（※）による健康観察を実施しているところですが、県内の感染状況及びオミクロン株の特性等を踏まえ、保健所の支援を重症化リスクが高い方に対してより重点的に実施するため、令和4年8月4日からこの対象者を変更することとしました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2022/covid19kenkokansatsu3.html>

（※）陽性者ご本人等がスマートフォン等で自身や家族の健康状態を入力できる健康管理機能

○千葉県における濃厚接触者の特定・行動制限及び積極的疫学調査について（令和4年7月22日改正）

県では、オミクロン株の特徴を踏まえた厚生労働省の方針及び県内の感染状況を踏まえ、今後、感染者の発生場所毎の濃厚接触者に関する対応について、同居家族内などと比較して感染確率の低いとされる事業所等（重症化リスクの高い方が入所等している施設を除く）においては、感染者が発生した場合でも、集団発生の場合等を除き、保健所による一律の積極的疫学調査や濃厚接触者の特定・行動制限は行わないこととしました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/chiba-omicron.html>

○千葉県新型コロナウイルス感染症検査キット配付・陽性者登録センターについて

発熱外来の予約が取りにくい等の状況を踏まえ、県では、発熱外来に負担をかけずに感染者を把握し、その後の支援等へ繋げることができるよう、「千葉県新型コロナウイルス感染症検査キット配付・陽性者登録センター」を設置しています。

https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kenkoufukushi/test_distribute_and_register_positive.html

○医療機関の方へ、HER-SYSへの発生届入力時のお願い

発生届のHER-SYS入力時には、My HER-SYS URL通知のボタンを押し下げし、くださるようお願いいたします。これにより、携帯電話へMy HER-SYSのURL等のSMSが届きます。

多くの医療機関ではボタンを押し下げいただいております、ありがとうございます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00129.html

（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）：厚生労働省HP）

◎千葉県発熱相談コールセンター
（電話番号） 0570-200-139
（対応時間） 24時間（土日・祝日を含む）

◎夷隅保健所（夷隅健康福祉センター）での相談
（電話番号） 0470-73-0145
（対応時間） 平日 8:30～17:15

1 新型コロナウイルス感染症について

＜千葉県ホームページより＞

1) 千葉県内で確認された感染者数 (令和4年8月2日現在)

累計感染者数	現在の感染者数	退院・療養終了	死亡
636,329	68,353	566,097	1,879

2) PCR 検査実施状況 (令和4年7月30日現在)

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査人数
2,475,643	66,279

※県衛生研究所並びに保健所、医療機関及び民間検査機関等(千葉市、船橋市、柏市含む)における実施分の合計です。

※検査人数はPCR検査及び抗原検査の結果が含まれます。

※速報値のため、後日修正となる可能性があります。

2 2022年の管内の感染症発生状況

管内の医療機関からは、2類感染症については、14週、23週に結核が、4類感染症については、24週につつが虫病が、5類感染症については、4週、30週に梅毒の発生届がありました。

また、4類感染症については、管外の医療機関からの届け出を含め計3件の届け出がありました。

● 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	累計 (2022年 発生分)
1 類感染症	0
2 類感染症 結核	2
3 類感染症	0
4 類感染症 (※管内居住の患者数)	3 (つつが虫病1 (日本紅斑熱1 レジオネラ症1))
5 類感染症 (※管内医療機関からの届出数)	2 (梅毒 2)

● 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2022年 1週~30週 の累計	直近5週の届出数				
		26週	27週	28週	29週	30週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	0	0	0	0	0	0
2 RSウイルス感染症	1	0	0	0	0	1
3 咽頭結膜熱	3	0	0	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0	0	0	1	0
5 感染性胃腸炎	10	1	0	0	0	1
6 水痘	1	0	0	0	0	0
7 手足口病	0	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	1	0	0	1	0	0
10 ヘルパンギーナ	2	0	0	0	0	1
11 流行性耳下腺炎	3	0	0	0	0	0

<参考> 夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

【今週の注目疾患】 梅毒

《梅毒》

2022年第29週に県内の医療機関より梅毒の報告が5例あり、2022年の累積届出数は160例となった。1999年の現行感染症サーベイランス開始以降、最多を記録した昨年の同時期を1.3倍上回る届出数(2021年第29週累積届出数120例)であり、本年も増加傾向が続いている(図2)。

性別では男性114例(71%)、女性46例(29%)であり、男性が多い。年齢別では、男性は40代44例(44/114,39%)、

50代26例(26/114,23%)が多く、次いで30代20例(20/114,18%)であった。女性では20代が32例(32/46,70%)で最も多く報告されていた。病型別では、男性は早期顕症梅毒第Ⅰ期(以下、第Ⅰ期)が73例(73/114,64%)と最も多かったが、女性では早期顕症梅毒第Ⅱ期(以下、第Ⅱ期)が22例(22/46,48%)、無症状病原体保有者が13例(13/46,28%)と多く報告されていた。2022年は現時点で、先天梅毒の症例は報告されていないが2例の妊娠症例が報告されている。推定される感染経路としては、男性では不明の12例を除く102例(102/114,89%)全てで性的接触があげられており※、うち70例(70/102,69%)が異性間性的接触であった。女性では不明が8例、母子感染が1例のほか、37例(37/46,80%)が性的接触であり、うち28例(28/37,76%)が異性間性的接触であった。男女ともに異性間性的接触を推定感染経路とする症例が急増している(図3)。(※複数の感染経路が登録されている場合もあり)

図2：2013年～2022年29週千葉県梅毒年別累積届出数(N=1354)

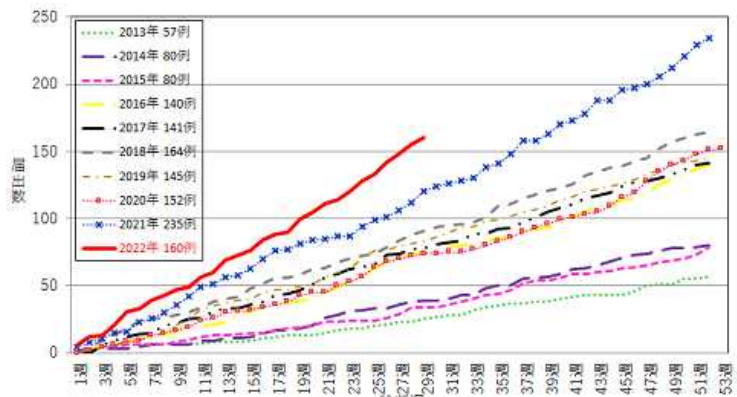
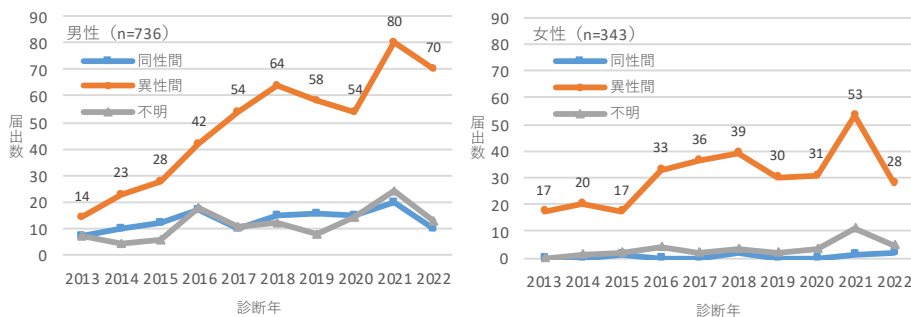


図3：2013年から2022年第29週までの性別性的接触の感染経路別届出数(n=1079)



梅毒は、梅毒トレポネーマを原因とする細菌感染症である。主な感染経路は菌を排出している感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為や疑似性行為によるものである。予防としては、感染者との性行為や疑似性行為を避けることが基本となる。コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があるため、コンドームの使用は完全ではないものの予防効果があることが示唆されている^{1,2)}。早期発見・早期治療が重要である。再感染を予防するため、パートナーもともに検査を受けることが推奨される。県では保健所において無料・匿名の検査を実施しているとともに、ちば県民保健予防財団への委託による検査を実施している。受検を希望する方は活用されたい。なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況に伴い変更される場合もあるので、最新の検査実施状況については、県ホームページ等でご確認いただきたい³⁾。

梅毒は、感染後3~6週間の潜伏期間を経て、継時的に様々な臨床症状が逐次出現する。

第Ⅰ期 感染約3週間後に梅毒トレポネーマの感染部位(主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等)に、しこりが形成されることがある。無治療でも数週間で軽快する。感染した可能性がある場合には、この時期に梅毒の検査が勧められる。

第Ⅱ期 第Ⅰ期の症状消失後、4~10週間の潜伏期間を経て、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹がでることがあるほか、脱毛、発熱・倦怠感の全身症状等多彩な症状を呈する。無治療でも数週間で軽快するが、この時期に適切な治療を受けられなかった場合、数年後に複数の臓器に障害がおこることがある。

潜伏梅毒(無症状病原体保有者) 梅毒血清反応陽性で顕性症状が認められないものをさし、第Ⅰ期と第Ⅱ期の間、第Ⅱ期の症状消失後の状態を主にいう。第Ⅱ期の症状が消失後、再度第Ⅱ期の症状を示すことがあり、これは感染成立後1年以内に起こることから、早期潜伏梅毒と呼ぶ。これに対して、感染成立後1年以上たつ血清梅毒反応陽性で無症状の状態を後期潜伏梅毒と呼ぶ。

晩期顕症梅毒 無治療で経過した者のうち、約3分の1で起こる。ゴム腫、進行性の大動脈拡張を主体とする心血管梅毒、進行麻痺に代表される神経梅毒に進展する。場合によっては死に至る。

先天梅毒 梅毒に罹患している母体から胎盤を通じて胎児に伝播される多臓器感染症であり、死産、早産、新生児死亡、奇形が起こることがある^{1,2)}。

■参考

1) 国立感染症研究所:梅毒とは

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

2) 厚生労働省:梅毒に関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.htm

3) 千葉県:梅毒が増えています

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/baidoku.html>

..... 手足口病

《手足口病》 **警報発令継続中**(警報開始基準値 5.0 終息基準値 2.0)

2022年第30週手足口病定点当たり報告数 県全体 7.67(人) 前週6.70(人)から増加

第27週に警報開始基準値である定点当たり報告数5.0(人)を上回って以降、県内では大きな流行状況が続いており、感染予防として手洗いの励行等が重要である。

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】

登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>

千葉県夷隅保健所

【お問い合わせ先】

jsumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
